

【実践報告④】

新学習指導要領を踏まえた学習評価の在り方に関する研究

蒲郡市立塩津中学校

1 はじめに

本校は蒲郡市にある学校で、全校生徒数282名（令和5年度）の中規模校である。一小一中で多くの生徒は9年間ともに過ごすこととなり、気心の知れた仲間となっている。一方で、外国からの転入や編入の多い学校でもあり、お互いのどんな個性も認め合える、温かい雰囲気の学校である。校訓を「するどく ゆたかに ねばり強く」と掲げ、「自ら意欲的に学習し、学力のある生徒」「優しさに秀で、礼儀正しい生徒」「心身ともに健康で、実践力のある生徒」を目指している。

2 研究の内容

(1) 研究の概要

平成29年告示の学習指導要領では、カリキュラム・マネジメントの一環として「指導と評価の一体化」が求められており、本校では「指導案」に着目し実践に取り組んだ。単元の構想が示された今までの指導案に、形成的な評価と総括的な評価を意識して書き込んだ。形成的な評価を意識して事前に考えることは、自ずと指導の中での生徒の理解度を見取るポイントを考えることになる。そうすることで、生徒の理解度の把握はもちろんのこと、授業者自らの授業の評価や改善へつなげることができるとは思わないかと考えた。本実践では「授業マネジメントシート」の活用法を考えていくとともに、教科によってさまざまな「振り返りシート」を活用しながら評価についての研究を進めていった。

(2) 「授業マネジメントシート」における実践例

ア 本校の授業マネジメントシートについて

本校の授業マネジメントシートの大きな特徴は、指導案型であることである。そこに毎時間の授業者の振り返りをメモとして書き込み、矢印等を利用しながらどのような授業改善が行われたか、授業案の変遷を記入するような形となっている。そして、既存の「指導案」から「授業マネジメントシート」へ意識を変えることや、教師の負担軽減のために、資料1に示すように3年間の研究を通してより使いやすいように形を変えていった。まず、表題を「学習指導案」から「授業マネジメントシート」とし、指導案の1枚目を廃止、1枚目に書いていた教材観・指導観をより簡潔にして授業マネジメントシートの上部に結合させた。また、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに記述欄を設けていたものを、三つの観点の欄には○をつけるのみにし、新たに記述欄を設け、統一して記載する形に変えた。このように、「評価の視点」や「授業者の振り返り」の欄を広く設けることで、具体的に記入することができた。「授業者の振り返り」の

【資料1 指導案から授業マネジメントシートへ】

The image shows two side-by-side documents. The left document is a traditional lesson plan for 'Mathematics' (第2学年4組 数学科指導案) with a title '第2学年3組 数学科 授業マネジメントシート'. The right document is the 'Classroom Management Sheet' (授業マネジメントシート) which has been modified. Red boxes and arrows indicate the following changes:

- The title is changed from 'Lesson Plan' to 'Classroom Management Sheet'.
- The 'Lesson Objectives' (学習の目標) section is simplified.
- New sections for 'Evaluation Perspectives' (評価の視点) and 'Teacher's Reflection' (授業者の振り返り) are added.
- The 'Lesson Content' (授業の展開) section is restructured to include more detailed notes and reflections.
- Red circles (○) are placed in specific areas to indicate evaluation points.

欄には1時間の授業を終えた後で授業者が感じたことを書き込んでいった。実際に授業を行ってみて、うまくいかなかったところや今後必要だと感じたことだけでなく、うまくいったところなども書き込んだ。

イ 3年生数学「図形と相似」（令和5年度）での実践

資料2は、3年生数学の「図形と相似」単元の授業マネジメントシート（単元初期）である。この単元は、学芸員の方から「市の名木でもある母校のクスノキについて、ホームページに高さを記載したいが実測することができなくて困っている。中学生のみなさんの力を借りて、なんとか樹高を求められないだろうか」と依頼を受けるところから始まる。第1時の授業者の振り返りに「学芸員の方が来校してくださったことで、直接依頼を受け、生徒の意欲が高められた」「『正確性』『根拠』というワードを出してもらえた。また、測定に生かす!」と記入があり、導入部分を地域の方に協力していただいたことで意欲が高まったことと、どんな話をされたことがよかったのかが具体的に記入されている。

【資料2 3年生数学の授業マネジメントシート（単元初期）】

学習活動 ★ふり返りの視点	めざす生徒像に 迫るための手だて ・指導上の留意点	評価の視点		授業者のふり返り
		知 技	態 度	
<p>博物館からの依頼！塩津小の「クスノキ」の高さを測定したい①</p> <p>○塩津小の「クスノキ」について、樹高を測れないかと依頼を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あのクスノキは名木50選に選ばれているんだ ・かなり大きいよね。あの高さは測れないよ ・名木50選の情報を新しく更新するべきだね ・何とかして博物館に情報を提供したいな <p>★樹高の測定についての疑問や予想、単元の目標の確認</p> <p>塩津小の「クスノキ」の樹高を測って、情報を更新したい</p>	<p>〈手だてⅠ〉実測できないものを測りたいという追究意欲を生むために、博物館から塩津小学校の「クスノキ」の樹高について測定の依頼を受ける。</p>	<p>○</p> <p>博物館から依頼を受けたクスノキの樹高の求め方に興味をもって話し合いに参加する。 (活動の様子・ふり返り)</p>	<p>○</p> <p>博物館から依頼を受けたクスノキの樹高の求め方に興味をもって話し合いに参加する。 (活動の様子・ふり返り)</p>	<p>○ 学芸員の人が来てくれてよかったけど、直接依頼を受け、生徒の意欲が高められた。</p> <p>○ 『正確性』『根拠』というワードも改めて出してもらえた。測定に生かす!</p>
<p>図形化して探ろう！相似な図形の性質②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数で習った縮小や拡大の勉強とつながっているね ⇒ 【相似】 ・角は同じ大きさだけど、対応する辺の長さは変わってしまうよ ・それでも、対応する辺の長さの比はいつも等しいな ⇒ 【相似比】 <p>★これまでの学習とのつながり、相似について詳しくわかったこと</p>	<p>〈手だてⅢ〉数学的な学びを自覚させるために、授業内容をキーワードとして書き出し、自己評価をする。</p>	<p>○</p> <p>相似の意味や相似な図形の性質を理解することができる。 (ノート・発言)</p>	<p>○</p> <p>相似の意味や相似な図形の性質を理解することができる。 (ノート・発言)</p>	<p>○ 〇〇の学びの交流から図形比についてわかった。4クラスも同じレベルで</p>
<p>相似な三角形に注目しよう④⑤⑥⑦⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同な図形と似ていて3辺の長さの比で作図できる ・2辺の長さの比とその間の角からも描けるよ ・相似な図形は角だけでも決まりそう ・合同の勉強みたいに、相似条件を使ったら相似の証明ができるね <p>★これまでの学習とのつながり、新たな発見、考えたこと</p>	<p>〈手だてⅡ〉共通点や相違点に着目させて合理的な解法を考えさせるために、かわり合いの場を設定する。</p>	<p>○</p> <p>三角形の相似条件を理解することができる。 (小テスト)</p> <p>○</p> <p>相似条件をもとに、図形の性質を証明することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○</p> <p>三角形の相似条件を理解することができる。 (小テスト)</p> <p>○</p> <p>相似条件をもとに、図形の性質を証明することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○ 証明を自分でやる生徒は少なかった。必ずほかの場面でも予定外にわり合いを促した。</p>

【資料3 3年生数学の授業マネジメントシート（単元中期）】

<p>★これまでの学習とのつながり、新たな発見、考えたこと</p> <p>平行線と線分の比の関係とは⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形の底辺に平行な直線をひくと、相似な図形ができる ⇒ 【平行線と線分の比】 ⇔ 【線分の比と平行線】 ・三角形以外にも、平行線と交わる直線には特徴がある ⇒ 【平行線にはさまれた線分の比】 ・三角形の2辺の中点を結ぶと、残りの1辺に平行で$\frac{1}{2}$の長さになるよ ⇒ 【中点連結定理】 <p>★今回学んだ性質、性質同士のつながり</p>	<p>・既習内容から新たな性質のヒントを得るために、生徒のふり返りからキーワードを抜粋し、教室に掲示する。</p>	<p>○</p> <p>平行線と線分の比についての性質を理解し、説明することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○</p> <p>平行線と線分の比についての性質を理解し、説明することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○ くり返し「比」について学習するほど、樹高の測定にはつなげられ、「早く測定したい」という反応がぐっと増えた。</p> <p>○ 2時から樹高の測定に入ることに。(2)〜(7)を入れ替</p>
<p>面積や体積との関係は？⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相似比が1:2の図形の面積を比べたら、1:4になったよ ⇒ 【相似な図形の面積の比】 ・立体の面積の比は、相似比と面積比の関係と同じ2乗になる ・体積比、面積比とは違って、相似比の3乗になっているね ⇒ 【相似な立体の表面積の比と体積の比】 <p>★今日までの学び、相似の勉強から考えたこと</p>	<p>〈手だてⅡ〉自己の追究を見直すために、考える似ている意図的なグループでのかわり合いの場を設定する。</p>	<p>○</p> <p>相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○</p> <p>相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○ グループでの準備中、場外を見ている。</p>
<p>相似がヒント！塩津小の「クスノキ」の樹高を測ろう 意欲(本時)⑳㉑</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中学校の木で樹高の測り方を考える。 ・写真によって縮小したら、相似比を使って求められないかな ・晴れの日に測定すれば、影の長さを使えそうだよ ○小学校に必要なデータを測りに行き、「クスノキ」の樹高を求める。 	<p>・長さを縮小して測るの？</p> <p>・面積の比を縮小して測るの？</p>	<p>○</p> <p>相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○</p> <p>相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 (発言・ノート)</p>	<p>○ グループでの準備中、場外を見ている。</p>

前のページの資料3は、しばらく単元を進めた段階での授業マネジメントシート（単元中期）である。授業者の振り返り欄には、「繰り返し『比』について学習する中で、『樹高の測定につながりそう』『早く測定したい』という反応がぐっと増えた」と生徒の見取りの様子が書き込まれている。さらに、他の部分には「第16時の終わりに第17時以降の予告をすると、『長さから高さじゃないの?』『面積のことやるうちにひらめいたこと忘れちゃいそう』」と生徒の反応の書き込みがある。そこで授業者は「次時から樹高の測定に入る。第22～25時と第17～20時の入れ替え」と書き込み、実際の学習内容の順番を入れ替えた。

ウ 1年生国語「星が降るころに」（令和5年度）での実践

資料4は、1年生国語の「私が紡ぐその後の物語～『星の花が降るころに～』」で作成した授業マネジメントシートである。授業者の「描写に着目している生徒もいるが本文の内容理解が不十分な生徒が多かった」という振り返りから、「なるべく生徒の言葉で他の生徒が理解できるように、切り返しや補助発問で具体性を引き出す」と手だてを改め、その後の学習活動を内容理解のための活動へと大きく変更した。どこがどう変更されたのか明確になり、その変更・改善に至った経緯やそこに込められた授業者の思いを読み取ることができる。

【資料4 実際の授業マネジメントシート（国語：単元中期）】

The image shows a classroom management sheet with several columns. The left column contains student activities and questions, such as 'How can we understand the story?' and 'What is the meaning of the metaphorical expression?'. The middle column contains teacher actions, including 'Handout 1: Students share their opinions on the relationship between the characters'. The right column contains reflection notes, such as 'Students who focus on descriptions are also there, but many students do not understand the content of the text'. A large yellow arrow points from the reflection notes to the 'Handout 1' section, indicating a change in the lesson plan. There are also red boxes highlighting specific parts of the sheet.

(3) 「振り返りシート」における実践例

本校の振り返りシートは、形式を統一せず、教科・単元に合わせてさまざまな形をとった。

ア OPPAでの振り返り

社会科、数学科、理科等ではOPPA（One Page Portfolio Assessment）の形で振り返りシートを作成した。1枚のシートに単元のはじめ、なか、おわりの履歴を簡潔に記録していき、自己評価する方法である。この振り返りでは、単元を通して生徒の変容や目標への到達度が確認しやすかったと感じた。また、生徒が表現したものを教師が見取り、指導に生かすこともできた。

次のページの資料5は、前述の3年生数学「図形と相似」における振り返りシートである。単元のはじめに自分がどのような思いをもったのか記録し（資料5の左上の四角部分）、この思いが持続するようにOPPAでの振り返りを活用した。「なか」の部分に当たるこの時間の振り返りには、「ク

スノキの測定に相似条件などが使えそうかなと思ったけれど、どうしたら測れるかまでは詳しくわからなかったです」と記述していた（資料5の左下の四角部分）が、数時間分の学習後には「平行線をかくことで相似な図形を見つけられることができると知りました。でも、クスノキを測るのにどう使うのかは、まだ分らなかったです」と成長の様子が見取られる（資料5の右中央の四角部分）。ここから生徒が常に目標を意識して授業に参加していると考えられる。

イ ルーブリックを利用した振り返り

【資料5 OPPAでの振り返り】

母校に残り続ける名木調査！樹高はどう測る？ ～図形と相似～

感想、不思議、予想

6.5m

木の影の長さを測ることで、木の高さを測る。影の長さを測るには、影の先端と木の先端を結ぶ線を引く。この線と地面は平行である。したがって、木の高さと影の長さの比は、太陽の高さと影の長さの比と等しい。相似条件を利用して、木の高さを求めることができる。

9月26日(火)

【学びのキーワード】 # 相似比

【参考になった仲間について】

【ふり返り】

9月29日(木) 2つの三角形では相似はあつたはどんな場合？

【学びのキーワード】 # 相似条件

【参考になった仲間について】

【ふり返り】

10月4日(水) 相似な図形に注目しよう。

【学びのキーワード】 # 相似な図形の性質

【参考になった仲間について】

【ふり返り】

10月25日(水) 平行線と線分の比の関係を考えてみよう。

【学びのキーワード】 # 平行線

【参考になった仲間について】

【ふり返り】

主に国語科ではルーブリックを利用した振り返りを用いた。これは学習の到達度を生徒が表を用いて測定する評価方法である。事前に評価観点の認識をすり合わせることができ、素早い評価と生徒へのフィードバックが可能になった。資料6では、学習計画「情景描写に込められた意味を考えてみよう」で『またたく星みたいに』のところで私は、ただの星が光っているのかなと思っていただけ、〇〇さんが言っていた『まだ思いは出し切れていない』『消えたり光ったり』確かだなと思いました」

【資料6 ルーブリックを活用した振り返り】

学習計画	★	★★	★★★
情景描写に込められた意味を考えてみよう	情景描写だと思ふ場所を1つでも見つけることができた。	情景描写を見つけ、そこに込められた意味を自分なりに考えることができた。	情景描写に込められた意味を、他の情景描写と関連させながら考えることができた。
〈ふり返り〉情景描写について追究したり、話し合ったりしたことでわかったことや疑問			
またたく星みたいにのところで私は、ただの星が光っているのかなと思っていただけ！ 〇〇さんが言っていた、「まだ思いは出し切れていない」「消えたり光ったり」確かになて 中間の語句が、考えを深めていくためのヒント。それによって「銀木犀」は「花が白く、花が白く、花が白く」			

と振り返っている。ルーブリックによって視点が与えられ、目標に迫った振り返りを書くことができたと考えられる。

ウ その他の振り返り

OPPAやルーブリック以外にも、生徒同士で他者評価や相互評価といった、互いで客観的に評価する方法も取り入れた。資料7は、体育科での旗を用いた他者評価と、英語科でのカードを用いた相互評価の実際の場面である。これらの評価は、評価項目や視点を定めて、お互いの発表や活動を観察

【資料7 他者評価や相互評価を取り入れた様子】



することで、評価する側もされる側もどちらも集中して取り組むことができた。仲間からの評価が自信につながるだけでなく、仲間の優れた点を自分のものとして吸収することができる利点もある。視覚的に評価を伝え合えるため、時間をかけずに取り組めた。

3 成果と課題

(1) 授業マネジメントシートを利用した授業者の感想

今回、指導案型の授業マネジメントシートを使用したときの教師の感想は次に示すとおりであった。

- ・どこで何を評価するのが、より明確な状態で授業づくりができた。それにより、これまでよりも生徒を見る視点が焦点化された。
- ・一つの单元の中で、生徒の関心の高さや理解度に応じて、内容のマイナーチェンジ（小規模な改良）が行えた。変更することが抵抗なくできた。
- ・生徒の理解のために効果的な单元展開を考えることで、結果的に生徒の学習を保障できていると感じた。

授業マネジメントシートについては、本校教師の意見を取り入れ、使いやすいようにアレンジを加えてきたため、教師の意識がかなり高まっていることを感じた。また、授業案を考える段階でその評価の方法、観点も考えることにより、目指す生徒の姿も具体的にイメージができ、生徒を見取る手助けとなった。

(2) 成果と課題

今回の実践を通しての成果として、次の二点が挙げられる。1点目は、どの教科でも指導と評価の一体化をイメージした取組ができたこと、2点目は、授業者の振り返りが蓄積でき、年度をまたいでも共有できたことである。指導案型の授業マネジメントシートや教科の特性に合わせた振り返りシートの活用により、目指す生徒の姿を授業者がより具体的にイメージすることができ、生徒の思いや学習内容の理解度等を見取る手助けとなった。生徒の姿や振り返りから、適切な授業改善を行い、生徒の成長につなげるという流れができていた。また、授業マネジメントシートに書かれた授業者の振り返りの蓄積は、その単元の授業改善に役立つだけでなく、次年度以降の同単元の授業者にとっても、大いに参考になった。

一方で、今回の実践では指導案型の授業マネジメントシートとしたが、この形のままで1年を通して日常的に利用することはできなかったことが課題として残った。今後は、気軽に日頃から使える形の授業マネジメントシートも模索していきたいと考えている。